



# 音楽を通じた支援活動

## カワイグループは、楽器メーカーとして 音楽や楽器を通じて、様々な支援活動に取り組んでいます

### 東日本大震災の被災地への継続的支援活動

#### 被災地植樹支援チャリティーコンサート 2016

東日本大震災から5年が経ちましたが、復興にはまだ時間がかかります。

カワイグループは、震災後継続して音楽を通じた支援活動をしています。2016年3月11日に、仙台・東京・横浜・名古屋・大阪の5会場で同時に『東日本大震災 被災地植樹支援チャリティーコンサート2016』を開催しました。カワイ表参道でのチャリティーコンサートは今回で12回目となりました。黙祷に始まりコンサートの主旨や皆様へ感謝の言葉を伝えました。それぞれの地元の第一線で活躍されている演奏者の方々にご出演の協力をいただき、5会場とも満席で合計470名ほどのお客様にお集まりいただきました。

各会場とも犠牲者となられた方々のご冥福と復興への祈りを込めての演奏となりました。「震災当時、たくさんの外国の方々から励ましの言葉を受け泣いてはいけな。音楽を通じて被災地を励ますことが自分にとってできることだ」と心を奮い立たせたと当時を思い出して話してくださる演奏家の方もいました。会場に

は涙を浮かべるお客様もあり被災地への温かな想いを共有したコンサートとなりました。

仙台会場では、今年も、最後に全員で『ふるさと』を合唱し、全体がひとつになりました。他の4会場でも、アンコールやカーテンコールで満場の拍手をいただきました。

2016年は、4月29日にドイツ、デュッセルドルフでも被災地のためのチャリティーコンサートが開催されました。2月11日にはタイ人ピアニストプーム・プロマチャート氏による仙台チャリティーコンサートが催されました。今年のチャリティーコンサートは国境を越えたグローバルな「音楽を通じた支援活動」で、音楽の素晴らしさを再確認できたチャリティーコンサートになりました。

皆様からお預かりしました寄付金とコンサートの収益金553,133円はカワイの森育成会を通じて被災地の植樹に役立たせていただきました。カワイグループは、今後も音楽を通じて被災地の方々の心に届く復興支援活動を継続してまいります。



### 被災地の海岸防災林再生支援のための「カワイの森」植樹活動

#### 2016年5月14日 宮城県東松島市浜市地区での植樹活動

海岸防災林再生のための「カワイの森」は、東日本大震災の津波により流失した海岸防災林の再生をめざす林野庁の『『みどりのきずな』再生プロジェクト』に参画した活動で、宮城北部森林管理署とカワイの森育成会とが協定を締結して植栽から保育までを継続的に取り組む復興支援活動です。

今回の植樹会は3月11日に全国5か所同時開催の「被災地植樹支援チャリティーコンサート2016」をはじめ国境を越えた「音楽を通じた支援活動」でお寄せいただきました寄付金と収益金、カワイの森育成会の会費をもとに実施されました。

植樹会当日には、宮城県内のカワイ音楽教室・カワイ体育教室の生徒さんや保護者の皆さん、宮城北部森林管理署の方々、約70名にご参加いただき、500本のクロマツの苗木を植樹しました。今回の植樹会は昨年に続き2回目だったので、昨年以上の盛り上がりでチャリティーコンサートの想いが植樹に繋がっていると実感できました。日常では経験できない素晴らしい体験の機会になったといった声を聞くことができました。

また、植樹会前日の5月13日には、2015年に植樹した東松島市矢本地区の「カワイの森」を訪ねました。ほぼ順調にクロマツが育成している状況も確認し、引き続き海岸防災林再生支援に熱い想いを抱きました。

